

教育・文化の発展に功績

県教育功労者 安房から5人が表彰

県教育委員会は22日、令和3年度教育功労者表彰の受賞者を発表しました。長年にわたり教育・文化の発展に寄与した個人、団体を表彰するもので、安房地域からは3部門で5人が受賞した。表彰式は、11月1日に千葉市のホテルポートプラザちばで開かれる。

昭和23年11月1日の県教委設置を記念し、同25年から続く表彰

県教育功労者表彰は、今年が72回目。教育行政、学校保健、芸術文化、社会教育、学校教育の5分野で、今年個人部門73人、団体部門20団体の計93件が受賞した。

各受賞者の功績は次のとおり。敬称略

【教育行政】
▽根本新太郎（鴨川市教育委員会委員）
平成22年、同教委に就任し、25～28年に委員長を務めた。卓越した文化財や埋蔵文化財包蔵地の巡視活動に従事。埋蔵文化調査の経験や日本史の専門的知識に基づき、適切な報告を行い、文化財保護保存に寄与した

【芸術文化】
▽杉山奈津子（県文化財保護指導委員）
平成14～20年の長きにわたり同委員を務め、主に安房地区の国指定文化財や埋蔵文化財包蔵地の巡視活動に従事。埋蔵文化調査の経験や日本史の専門的知識に基づき、適切な報告を行い、文化財保護保存に寄与した

【学校教育】
▽石井浩己（県立安房高等学校校長）
昭和61年に初任。旧安房南高等学校、館山総合高等学校など管内を含む県内高校の教諭、教頭や教育庁職を経て、平成29年に館山総合高等学校長、令和2年から現職。この間、特に特別支援教育に功績を挙げた

▽相良和久（館山市立館山小学校長）
平成元年の県立安房養護学校教諭に始まり、管内中学校教諭、館山市教育委員会、教育庁南房総教育事務所を経て、27年に鋸南町立鋸南中学校長に。その後、教育庁職を歴任し、令和2年から現職。この間、特に社会科教育の振興に力を尽くした